

英彦山と 神様の使者タカの歴史

オーラホールのロビーに町在住の福田暢夫さんの「神々の三羽の使者」という絵が飾られています。この絵は英彦山を背景に3羽のタカが銅鳥居にとまっている姿が描かれています。今回この絵に描かれているタカと英彦山にまつわるお話を紹介します。



福田暢夫さんの作品「神々の三羽の使者」↑

問 役場商工観光振興課歴史文化財係(☎82-1236)

英

彦山では、昔からタカは神様の使者として考えられています。この由来となるのが、英彦山の歴史を記した「鎮西彦山縁起」という書物です。元亀3(1572)年に書かれたもので、豊後国日田郡(現在の大分県日田市)の藤原恒雄という獵師が英彦山で白鹿を射つて殺したところ、3羽のタカが飛んてきて、白鹿を生き返らせた逸話が紹介されています。最初のタカが、白鹿に刺さった弓矢をくちばしで抜き、次のタカは広げた羽で傷口をなでて血をはらい、最後のタカがヒノキの葉っぱに水をふくませ、白鹿に飲ませたところ、白鹿が生き返ったのです。この出来事

を見ていた藤原恒雄は、生き物を殺すことを悔い改めたと いう逸話から英彦山ではタカが神様の使者として伝えられました。

こ

のよう動物を神様の使者とする考え方は、全国各地にあります。たとえば、京都市の伏見稻荷大社ではキツネを神様の使者として見なしています。これは諸説あるようですが、キツネは農業の始まる春先から人里に降り、収穫が終わりを迎える頃に山へ戻っていく姿から、それが、鹿を神様の使者として扱われてきました。

【演武試合結果】
●一般男子の部 第3位 平川悠人
●一般女子拳術の部 準優勝 平川花
●一般女子器械の部 優勝 平川和
※誠武会添田道場では、毎週木曜日と土曜日の18時30分~20時30分に添田町武道館で練習しています。興味のある人は、ぜひ下記まで連絡ください。
問 日本嵩山少林拳連盟誠武会 手島(☎090-9591-9090)

娘の稼ぎし金をバッパと奪いゆく雲の行方は知れずわが生も夢と知りせばたゆどう如し

飼い猫は二度の入院二日間

歩き回る奈良の特徴的な景觀を作り上げた一つの要因とも言えるでしょう。その他にも、八幡神を祀る宇佐神宮などの神社ではハト、菅原道真を祀る天満宮では牛などが神様の使者とされています。

桜木マサ子

これは、鹿が町なかを自由に歩き回る奈良の特徴的な景觀を作り上げた一つの要因とも言えるでしょう。その他にも、八幡神を祀る宇佐神宮などの神社ではハト、菅原道真を祀る天満宮では牛などが神様の使者とされています。

佐藤直

英彦山では、タカが大切な存在として扱われていますが、その一つとして英彦山神宮の御神紋が挙げられます。タカの羽を図案化したもので、奉幣殿前の灯ろうや下宮に下げられている幕などに描かれています。英彦山神宮を訪れた際は、一度見てみてはいかがでしょうか。

柳瀬一徳

音も無く降り積もる雪眺めてる

柳瀬一徳

冬の寒さもわりと好きかも

佐藤直

煌く入陽まちしかたちねの母は

柳瀬一徳

逝き給うあたたかき暮の日に

柳瀬一徳

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

此處に居るよと愛告げに来る

柳瀬一徳

心躍る掃除もありか施設より

柳瀬一徳

一時帰宅の妻と正月

柳瀬一徳

すぐ帰れ人に言われる年の暮れ

柳瀬一徳

寺本芳寛

久保田克利

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

冬の寒さもわりと好きかも

佐藤直

煌く入陽まちしかたちねの母は

柳瀬一徳

逝き給うあたたかき暮の日に

柳瀬一徳

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

此處に居るよと愛告げに来る

柳瀬一徳

心躍る掃除もありか施設より

柳瀬一徳

一時帰宅の妻と正月

柳瀬一徳

すぐ帰れ人に言われる年の暮れ

柳瀬一徳

寺本芳寛

久保田克利

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

冬の寒さもわりと好きかも

佐藤直

煌く入陽まちしかたちねの母は

柳瀬一徳

逝き給うあたたかき暮の日に

柳瀬一徳

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

此處に居るよと愛告げに来る

柳瀬一徳

心躍る掃除もありか施設より

柳瀬一徳

一時帰宅の妻と正月

柳瀬一徳

すぐ帰れ人にと言われる年の暮れ

柳瀬一徳

寺本芳寛

久保田克利

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

冬の寒さもわりと好きかも

佐藤直

煌く入陽まちしかたちねの母は

柳瀬一徳

逝き給うあたたかき暮の日に

柳瀬一徳

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

此處に居るよと愛告げに来る

柳瀬一徳

心躍る掃除もありか施設より

柳瀬一徳

一時帰宅の妻と正月

柳瀬一徳

すぐ帰れ人にと言われる年の暮れ

柳瀬一徳

寺本芳寛

久保田克利

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

冬の寒さもわりと好きかも

佐藤直

煌く入陽まちしかたちねの母は

柳瀬一徳

逝き給うあたたかき暮の日に

柳瀬一徳

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

此處に居るよと愛告げに来る

柳瀬一徳

心躍る掃除もありか施設より

柳瀬一徳

一時帰宅の妻と正月

柳瀬一徳

すぐ帰れ人にと言われる年の暮れ

柳瀬一徳

寺本芳寛

久保田克利

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

冬の寒さもわりと好きかも

佐藤直

煌く入陽まちしかたちねの母は

柳瀬一徳

逝き給うあたたかき暮の日に

柳瀬一徳

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

此處に居るよと愛告げに来る

柳瀬一徳

心躍る掃除もありか施設より

柳瀬一徳

一時帰宅の妻と正月

柳瀬一徳

すぐ帰れ人にと言われる年の暮れ

柳瀬一徳

寺本芳寛

久保田克利

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

冬の寒さもわりと好きかも

佐藤直

煌く入陽まちしかたちねの母は

柳瀬一徳

逝き給うあたたかき暮の日に

柳瀬一徳

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

此處に居るよと愛告げに来る

柳瀬一徳

心躍る掃除もありか施設より

柳瀬一徳

一時帰宅の妻と正月

柳瀬一徳

すぐ帰れ人にと言われる年の暮れ

柳瀬一徳

寺本芳寛

久保田克利

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳

冬の寒さもわりと好きかも

佐藤直

煌く入陽まちしかたちねの母は

柳瀬一徳

逝き給うあたたかき暮の日に

柳瀬一徳

梅馨り箒止めて聴く鶯の

柳瀬一徳